



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月1日

上場会社名 株式会社キングジム 上場取引所 東
 コード番号 7962 URL <https://www.kingjim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883
 四半期報告書提出予定日 2023年2月1日 配当支払開始予定日 2023年3月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年6月21日～2022年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	18,582	14.0	△274	—	△109	—	△197	—
2022年6月期第2四半期	16,302	△1.7	483	△44.1	626	△39.4	368	△46.6

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 312百万円(33.2%) 2022年6月期第2四半期 234百万円(△73.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	△6.92	—
2022年6月期第2四半期	12.95	12.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期第2四半期	37,285	24,135	64.5	842.83
2022年6月期	33,512	24,231	72.0	846.80

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 24,048百万円 2022年6月期 24,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	7.00	—	15.00	22.00
2023年6月期	—	7.00			
2023年6月期(予想)			—	15.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年6月21日～2023年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	14.6	1,120	11.2	1,350	0.9	930	17.9	32.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年6月期2Q	31,459,692株	2022年6月期	31,459,692株
2023年6月期2Q	2,926,682株	2022年6月期	2,957,834株
2023年6月期2Q	28,508,667株	2022年6月期2Q	28,480,380株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動縮小から緩やかに持ち直す動きがみられましたが、世界的な金融引き締めを背景とした金融資本市場の変動や物価上昇の影響により、依然として厳しい状況となりました。

このような状況のもと、第10次中期経営計画(2022年6月期から2024年6月期)の目標達成に向けた取り組みを実行してまいりました。「テプラ」やファイルといった基盤事業のさらなる強化を図りつつ、インテリアライフスタイル事業や衛生・健康用品の拡販、M&Aによる事業領域拡大など、成長分野への注力しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、半導体不足に伴う「テプラ」の品切れの影響が長引いたものの、2021年11月より子会社化したライフオンプロダクツ(株)の売上寄与により、売上高は185億8,231万円(前年同期比14.0%増)となりました。利益面では、急激な円安や物流費等の高騰に加え、原材料価格も依然として高い水準にあることから、営業損失は2億7,435万円(前年同期は4億8,379万円の営業利益)、経常損失は1億966万円(前年同期は6億2,666万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億9,736万円(前年同期は3億6,895万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

なお、当社は2022年9月に千葉県習志野市にある(株)エイチアイエムの全株式を取得し、子会社化する株式譲渡契約を締結いたしました。同社はキッチン用品や生活雑貨等、今の生活を一步便利にする商品を企画し、インターネット上で販売を行っております。設立から著しい成長を続けている同社を当社グループに迎え入れることでEC事業をさらに強化し、飛躍的な拡大を実現いたします。2023年2月1日付けで当社は、(株)エイチアイエムを吸収合併いたします。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 文具事務用品事業

基盤事業である文具事務用品事業におきまして、主力の「テプラ」では、「テプラ」Liteの「すみっこぐらし」コラボ柄モデルを発売したほか、流通事業者とのコラボ企画によるオリジナルモデルを販売するなど、積極的な販売活動にも注力いたしました。ステーションナリーでは、書類をスマートに整理できる「書類仕分けファイル」を発売いたしました。また、女子文具では、ニュアンスカラーのステーションナリーシリーズ「EMILy(エミリー)」や、HITOTOKIシリーズとして貼ってはがせる透明フィルムのマスキングテープ「SODA」、「手帳のように使える」ノート「HITOTOKI NOTE」のラインアップ追加を行いました。

成長分野の各カテゴリにおきまして、デジタル文具では、デジタルメモ「ポメラ」の新機種「DM250」を発売いたしました。また、衛生・健康用品では、会話により発生した飛沫を吸引する「飛沫キャッチャー」のほか、正しい姿勢による歩行をサポートする「体圧分散スリッパ」を発売いたしました。オフィス・生活環境用品では、道路交通法施行規則の改正による運転前後の酒気帯び確認義務化に先立ち、呼気中のアルコール有無を判別できる「アルコールチェッカー」を発売したほか、乗車中の“もしも”に備える「非常用車載セット」を発売いたしました。加えて、バッグ・収納用品では、物が取り出しやすい巾着型ポーチ「ハンディポーチ」のほか、シリコン素材のマルチポーチ「テクスポーチ」を発売いたしました。

これらの新製品の投入に加え、販売面においても、メインの販路ルート以外に、テレビ通販の活用や、建設資材のレンタル・販売業への衛生・健康用品の提案など、積極的な販路拡大にも努めました。また、オフィス防災用品の認知拡大・売上獲得を目指し、「防災アイテム丸わかりBOOK」と題したパンフレットを作成するなど、オフィス用品メーカーならではの切り口で新規需要獲得に取り組みました。

また、原材料費や物流費の高騰が続いている中、一部の製品について価格改定を行い、収益の確保に努めております。

しかしながら、「テプラ」などの品切れや、昨年好調だった手指消毒器「テッテ」の反動減、厚型ファイルの販売減などの影響により、売上高は119億6,187万円(前年同期比1.6%減)、急激な円安や物流費等の高騰に加え、原材料価格の高止まりにより、営業損失は4億5,662万円(前年同期は1億297万円の営業利益)となりました。

② インテリアライフスタイル事業

㈱ぼん家具は、収納用品を中心に家具の販売が引き続き好調に推移しております。新製品として、主力の組み立て家具に加え、新カテゴリーのペンダントライトなど照明器具の発売を開始しました。㈱ラドンナは、暖冬の影響を受けて加湿器が振るわなかったものの、主力のキッチン家電とフォトフレームが堅調に推移しております。㈱アスカ商会は、主力商品である花類が伸長し、グリーン・観葉類も装飾を中心に好調に推移しました。ライフオンプロダクツ㈱では、冬物商材の展開強化を行いました。中でもSDGsの観点から新商品である充電式カイロと電気湯たんぽの売上が好調でした。

この結果、売上高は㈱ぼん家具と㈱アスカ商会が好調だったことに加え、2021年11月より子会社化したライフオンプロダクツ㈱の加算もあり、インテリアライフスタイル事業全体で66億2,044万円（前年同期比59.5%増）、急激な円安による売上原価率の上昇により、営業利益は1億7,230万円（前年同期比54.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、37億7,316万円増加し、372億8,535万円となりました。これは主に、商品及び製品が21億2,280万円、㈱エイチアイエムの株式取得などにより関係会社株式が5億5,000万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、38億6,942万円増加し、131億4,968万円となりました。これは主に、運転資金需要等として短期借入金が35億円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、9,625万円減少し、241億3,566万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が増加した一方、第74期期末配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較し、現金及び現金同等物が1億261万円減少し、55億3,476万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、18億2,158万円（前年同期は14億1,461万円の資金使用）となりました。これは主に、仕入債務の増加額4億8,511万円や減価償却費2億9,521万円等があった一方、棚卸資産の増加額22億7,314万円や法人税等の支払額2億4,017万円、税金等調整前四半期純損失9,503万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ20億9,577万円減少し、12億6,019万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入2億1,960万円があった一方、子会社株式の取得による支出5億5,000万円や有形及び無形固定資産の取得による支出3億3,373万円、定期預金の預入による支出3億2,100万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ9億8,908万円減少し、28億3,795万円となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出4億2,660万円があった一方、短期借入金の純増額35億円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年1月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,078,942	6,085,493
受取手形	453,185	426,489
売掛金	4,919,830	5,155,969
商品及び製品	8,775,732	10,898,535
仕掛品	476,895	480,612
原材料及び貯蔵品	1,599,620	1,817,267
その他	788,394	833,621
貸倒引当金	△2,624	△876
流動資産合計	23,089,976	25,697,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,094,134	6,172,461
減価償却累計額	△3,888,196	△3,995,386
建物及び構築物(純額)	2,205,938	2,177,075
機械装置及び運搬具	3,101,267	3,297,446
減価償却累計額	△2,819,117	△2,973,771
機械装置及び運搬具(純額)	282,149	323,675
土地	1,588,784	1,588,784
建設仮勘定	103,220	131,899
その他	2,932,739	3,053,718
減価償却累計額	△2,674,249	△2,791,116
その他(純額)	258,489	262,601
有形固定資産合計	4,438,582	4,484,036
無形固定資産		
のれん	1,232,624	1,150,449
その他	628,658	647,477
無形固定資産合計	1,861,283	1,797,927
投資その他の資産		
投資有価証券	2,167,593	2,740,370
関係会社株式	—	550,000
退職給付に係る資産	1,293,228	1,357,078
繰延税金資産	244,658	247,301
その他	419,149	413,782
貸倒引当金	△2,287	△2,259
投資その他の資産合計	4,122,341	5,306,273
固定資産合計	10,422,208	11,588,237
資産合計	33,512,184	37,285,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,618,476	2,121,092
短期借入金	1,040,000	4,540,000
1年内返済予定の長期借入金	450,055	446,328
未払法人税等	218,277	118,485
未払金	880,632	860,172
役員賞与引当金	33,312	7,484
契約負債	26,259	16,478
その他	855,420	993,945
流動負債合計	5,122,431	9,103,987
固定負債		
長期借入金	2,769,278	2,547,151
繰延税金負債	542,364	631,434
退職給付に係る負債	473,620	489,478
資産除去債務	30,751	31,250
その他	341,819	346,385
固定負債合計	4,157,834	4,045,700
負債合計	9,280,266	13,149,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	1,717,573	1,718,670
利益剰余金	22,487,418	21,862,523
自己株式	△2,614,703	△2,587,196
株主資本合計	23,568,979	22,972,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	545,185	841,515
繰延ヘッジ損益	3,548	△26,174
為替換算調整勘定	△6,842	230,083
退職給付に係る調整累計額	24,528	30,462
その他の包括利益累計額合計	566,420	1,075,886
新株予約権	87,088	87,088
非支配株主持分	9,430	—
純資産合計	24,231,917	24,135,663
負債純資産合計	33,512,184	37,285,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年6月21日 至2021年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年6月21日 至2022年12月20日)
売上高	16,302,069	18,582,314
売上原価	10,041,152	12,054,116
売上総利益	6,260,917	6,528,197
販売費及び一般管理費	5,777,121	6,802,550
営業利益又は営業損失(△)	483,796	△274,352
営業外収益		
受取利息	5,714	6,120
受取配当金	54,600	78,692
為替差益	—	20,771
受取賃貸料	75,306	75,432
その他	37,046	29,802
営業外収益合計	172,668	210,819
営業外費用		
支払利息	4,083	19,853
為替差損	1,802	—
賃貸収入原価	22,849	23,015
その他	1,067	3,260
営業外費用合計	29,802	46,129
経常利益又は経常損失(△)	626,663	△109,662
特別利益		
固定資産売却益	9	—
投資有価証券売却益	911	—
関係会社出資金売却益	—	14,693
特別利益合計	920	14,693
特別損失		
固定資産除却損	1,764	65
投資有価証券評価損	478	—
特別損失合計	2,243	65
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	625,340	△95,034
法人税、住民税及び事業税	199,271	100,903
法人税等調整額	45,226	△23,088
過年度法人税等	11,342	24,416
法人税等合計	255,840	102,230
四半期純利益又は四半期純損失(△)	369,499	△197,265
非支配株主に帰属する四半期純利益	541	101
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	368,957	△197,367

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月21日 至 2021年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月21日 至 2022年12月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	369,499	△197,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△192,862	296,330
繰延ヘッジ損益	△1,844	△29,723
為替換算調整勘定	72,742	236,925
退職給付に係る調整額	△13,172	5,933
その他の包括利益合計	△135,137	509,466
四半期包括利益	234,362	312,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,820	312,098
非支配株主に係る四半期包括利益	541	101

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月21日 至 2021年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月21日 至 2022年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	625,340	△95,034
減価償却費	294,649	295,218
のれん償却額	—	82,174
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,086	△1,807
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,914	△32,941
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△80,973	△48,827
受取利息及び受取配当金	△60,315	△84,812
支払利息	4,083	19,853
為替差損益(△は益)	△4,842	43,246
固定資産除売却損益(△は益)	1,755	65
投資有価証券売却損益(△は益)	△911	—
投資有価証券評価損益(△は益)	478	—
関係会社出資金売却益	—	△14,693
売上債権の増減額(△は増加)	△33,259	△183,892
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,037,916	△2,273,146
その他の資産の増減額(△は増加)	86,621	76,979
仕入債務の増減額(△は減少)	△284,619	485,114
未収消費税等の増減額(△は増加)	△70,994	31,893
未払消費税等の増減額(△は減少)	△245,170	△3,456
その他の負債の増減額(△は減少)	△20,648	26,225
その他	5,331	11,927
小計	△810,563	△1,665,913
利息及び配当金の受取額	60,315	84,711
利息の支払額	△5,429	△22,057
法人税等の支払額	△659,067	△240,171
法人税等の還付額	133	21,846
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,414,611	△1,821,584
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△440,817	△333,739
有形及び無形固定資産の売却による収入	9	—
投資有価証券の取得による支出	—	△149,642
貸付けによる支出	—	△137,450
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,792,566	—
敷金及び保証金の差入による支出	△2,185	△2,944
敷金及び保証金の回収による収入	3,335	3,632
定期預金の預入による支出	△311,200	△321,000
定期預金の払戻による収入	190,800	219,602
子会社株式の取得による支出	—	△550,000
関係会社出資金の売却による収入	—	14,693
その他	△3,342	△3,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,355,966	△1,260,191
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,410,000	3,500,000
長期借入金の返済による支出	△14,790	△225,854
配当金の支払額	△567,769	△426,600
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△9,400
その他	△403	△187
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,827,037	2,837,957
現金及び現金同等物に係る換算差額	52,164	141,202
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△891,376	△102,615
現金及び現金同等物の期首残高	7,032,921	5,637,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,141,545	5,534,768

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)の仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年6月21日至2021年12月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,151,445	4,150,624	16,302,069	—	16,302,069
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,579	120,952	166,532	△166,532	—
計	12,197,024	4,271,577	16,468,601	△166,532	16,302,069
セグメント利益	102,972	379,321	482,293	1,502	483,796

(注)1. セグメント利益の調整額1,502千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年6月21日至2022年12月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,961,871	6,620,443	18,582,314	—	18,582,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50,409	139,896	190,305	△190,305	—
計	12,012,280	6,760,339	18,772,619	△190,305	18,582,314
セグメント利益又は損失(△)	△456,625	172,306	△284,318	9,966	△274,352

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額9,966千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。